

【文部科学省】URAシンポジウム

# TMDUにおけるURA

2016. 3. 6.

東京医科歯科大学

## 研究活動の弱み

- ①本学が総合大学ではないことより、人材は医歯学系が中心であり、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネジメントする人材が十分ではないこと。
- ②留学生が多いにもかかわらず、外国人教員が少ないこと。  
(QS2012: 外国人教員スコアー15.4/100)
- ③他を圧倒する突出した研究分野があるにもかかわらず、国内外、特に外国での認知度が低いこと。  
(QS2012: 認知度スコアー 22.8/100)
- ④研究の質の高さに比べ、医師主導型治験や先進医療の展開が少ないこと。
- ⑤教員の給与体系はほぼ均一で、能力がある一部の教員に多くの業務が集中し、負担が増大していること。

## URA室運営会議

RU副機構長  
シニアURA  
各センター長  
事務部長  
人材雇用計画、評価、キャリアパス

学 長

研究推進協議会

役員会  
(RU機構会議)

研究・産学連携 (RU) 推進機構

URA室

研究推進部門

IRセンター

研究戦略  
(研究者情報収集・解析 研究費獲得、アウトリーチなど)

研究支援センター

医歯学研究支援センター  
実験動物センター  
生命倫理研究センター  
疾患バイオリソースセンター

研究センター

再生医療研究センター  
脳統合機能研究センター  
低侵襲医歯学研究センター

産学連携推進部門

医療イノベーション推進センター

臨床研究企画支援・臨床研究実施支援

産学連携研究センター

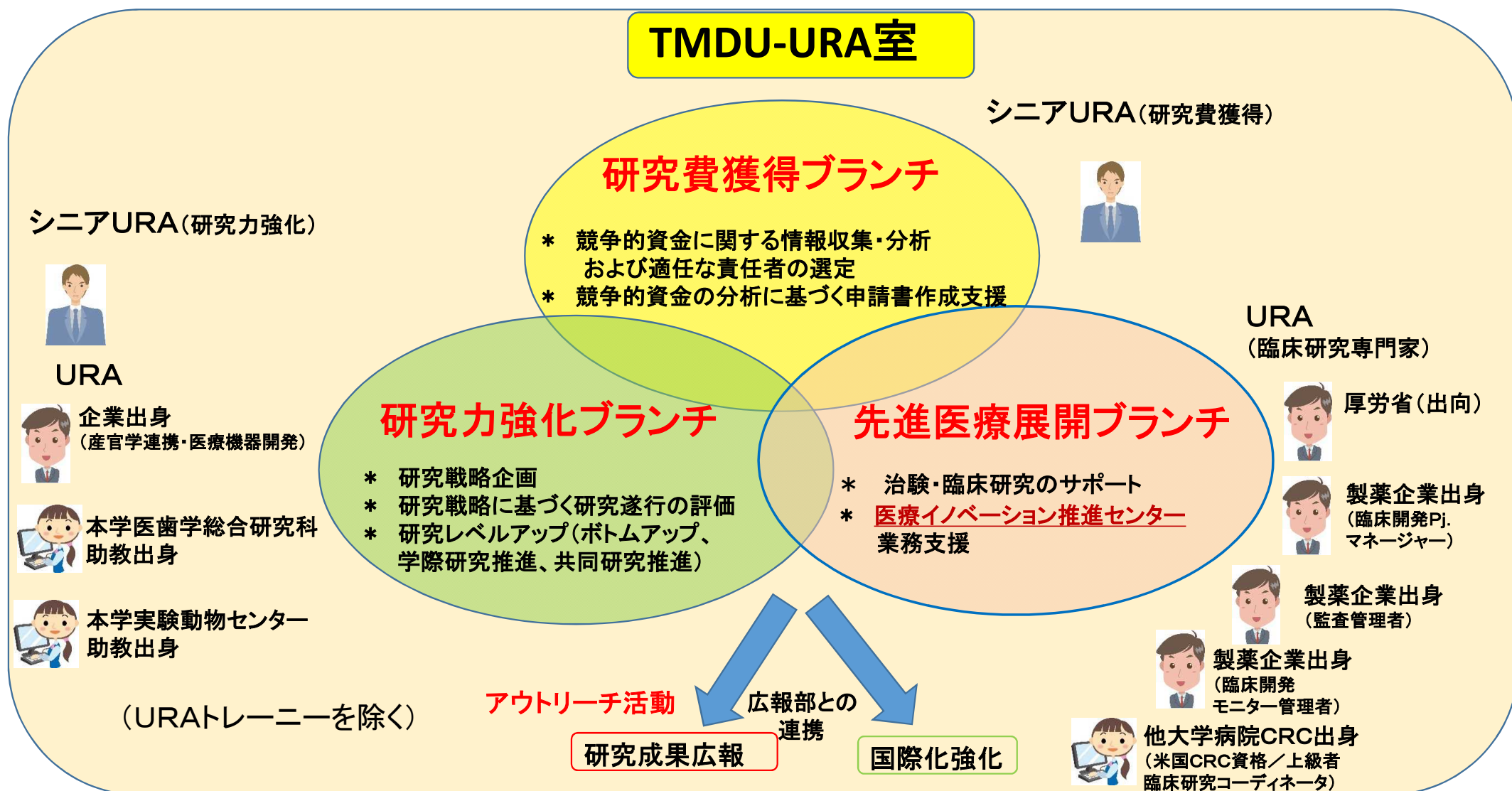
産学連携支援 (契約、TLO、知財教育、MTAなど)  
知的財産管理・運用業務

研究安全管理室

臨床研究倫理対策、利益相反マネジメント支援、  
ガイドライン作り、FD

事 務 部

## URA各ブランチとその人材 業務に合った即戦力を確保して育成

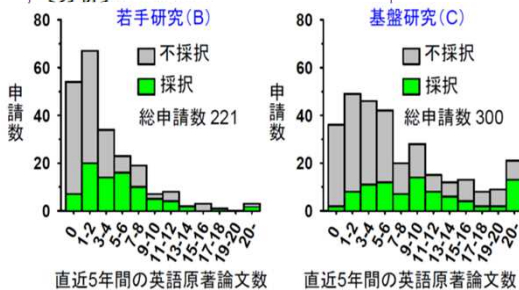


# 研究力強化プランチの取り組み

## 本学競争的研究費獲得の徹底分析

学内研究活動の情報収集と分析  
文部科学省科学研究費の分析(継続中)  
〔目的〕文部科学省科学研究費に関して、  
本学の申請の実態を解析し、本学の強み  
と弱み(問題点)を洗い出し、採択率上昇  
に繋げる。

〔分析〕



## 実験データ等統計解析に関する相談を常時受付 (URA HP掲載)

### 実験データ等統計解析に関する相談について

生物学、生化学、分子生物学等の研究分野における実験データの解析にあたって、要求される統計的手法はますます複雑となっています。特に、基礎研究においては少数例でありながら実験系が複雑であり、簡単に標準的な手法を当てはめることが出来ずに個々の実験に応じた対応が必要となります。

当室では、研究者が解析方法に悩んだ時、論文投稿時にリバイスで統計的な問題を指摘されて対応に悩んだ時など実験データの解析に関する相談を受け付けますので、必要な時に下記宛にご相談ください。

なお、相談は実験計画時の例数設計、データの検定、論文投稿時のリバイスへの対応を含みます。主に生物学、生化学、分子生物学等の基礎研究分野を対象としています。小規模な臨床研究データへの対応も内容により受け付けます。相談内容が対象に含まれるかどうか分からないという場合は、まずはご相談ください。

## 申請書に関する相談を常時受付(URA HP掲載)

### 申請書に関する相談について

文部科学省科学研究費、厚生労働科学研究費、日本医療研究開発機構(AMED)研究費、科学技術振興機構(STI)競争資金等の公的競争資金、および産業界の競争的資金を獲得することは、研究者にとって重要なことです。

競争的資金の採択には提案する研究内容が最も重要ですが、申請書の書き方によって採択が左右されることも事実です。競争的資金の公募は時期がほぼ決まっていますので、公募が発表されてから申請書作成に取り組むのではなく、自分の研究の学術的背景を整理して、その必要性・重要性を審査員にアピールできるように余裕を持って作成することが大切です。

審査員に自分の研究をアピールするには申請書の可読性が重要で、そのためには第三者に読んでもらうことは有効な手段の一つです。URA基では申請書の作成支援を随時行っています。下記の要領でご連絡ください。科研費の審査を長年経験したシニアURAが支援致します。

## 外部資金申請の採択率上昇

## 次の一手

- 研究の国際化推進
- 研究戦略の策定

平成27年度科研費若手採択率(100件採択以上の大学)  
**1位**

## 科研費説明会の開催

### 平成27年度科研費説明会

平成27年度科研費説明会が、2015年8月4日(水)17:30~18:30M&D2F共用講義室2にて行われました。長年にわたり科研費審査に携わったシニアURAが、具体的な例を挙げて1時間の興味深い講演を行いました。講演室は満員になり座席に座りきれなかった人も熱心に関心入っていました。最後に「私をうまく利用してください。」申請に関してアドバイスをしますと高石先生が言及されて終了となりました。

ここでも講演会でのプレゼンテーション資料を掲載しますのでご覧ください。



## 英語論文の書き方セミナーを開催 (図書館メディア機構と連携)

| 図書館委員会47：英語論文の書き方セミナー(日本語)                                                                                     |                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 英語による論文作成スキルを高めるセミナーを開催いたします。アクセプトされ、検索され、引用される論文を書くための基本的テクニックを外部講師が日本語で説明します。英語論文を執筆する際に役立つ内容ですので、是非ご参加ください。 |                                                                                                                                       |
| 日 時                                                                                                            | 平成27年6月29日(月)17:30-19:30                                                                                                              |
| 場 所                                                                                                            | 歯学部特別講義(歯科棟南4階)                                                                                                                       |
|                                                                                                                | ミランダ・J・ヒル(Ms.Melinda Hill) [カクタス・コミュニケーションズ株式会社]                                                                                      |
| 講 師                                                                                                            | 1985年以来、日本で英語指導に従事。この10年間は、東京大学や東北大学、東京医科大学などで英語論文の指導にあたる。英文校正や日本語論文の英語翻訳の経験も豊富で、論文執筆における日本人研究者のクセや誤りに精通。現在、東京大学医学部非常勤講師、東京工業大学特任准教授。 |
| 説明言語                                                                                                           | 日本語                                                                                                                                   |
| 講習内容                                                                                                           | 英語論文の構成                                                                                                                               |
| 受講対象                                                                                                           | 学内の若手研究者                                                                                                                              |

## 若手の研究促進を促すセミナーを開催

第3回TMDU  
「知の創造」若手コアセミナー

2015年7月15日(水) 17:00~18:00  
会場 M&Dタワー2F 共用講義室1

★第一部 17:00台~  
「ゲノム編集」

講師：相田 知海 助教(理研臨床研究内 分子遺伝科学分野)

★第二部 ~18:00分 自由討論(進行:シニアURA)

2015年度 研究活動上の不正行為防止ハンドブック

## 研究不正防止 英語版ハンドブック 作成中

2015年度 研究活動上の不正行為防止ハンドブック

東京医科大学

# Institutional Research (IR)を基盤とした大学改革

## QSランキング（歯学系）

|    |      |                                                                                                                                                              |                                                                                       |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 90.1 | Karolinska Institutet (/universities/karolinska-institutet/undergrad)                                                                                        |    |
| 2  | 90.0 |  The University of Hong Kong (/universities/university-hong-kong/undergrad) |    |
| 3  | 88.4 | University of Gothenburg (/universities/university-göteborg/undergrad)                                                                                       |    |
| 4  | 87.6 | University of Michigan (/universities/university-michigan/undergrad)                                                                                         |    |
| 5  | 87.1 | KU Leuven (/universities/ku-leuven/undergrad)                                                                                                                |    |
| 6  | 86.6 | Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (/universities/tokyo-medical-dental-university-tmdu/undergrad)                                                    |    |
| 7  | 86.1 | Kings College London (/universities/kings-college-london/undergrad)                                                                                          |   |
| 8  | 85.0 | University of Otago (/universities/university-otago/undergrad)                                                                                               |  |
| 9  | 83.7 | Harvard University (/universities/harvard-university/undergrad)                                                                                              |  |
| 10 | 83.6 | University of North Carolina, Chapel Hill (/universities/university-north-carolina-chapel-hill/undergrad)                                                    |  |

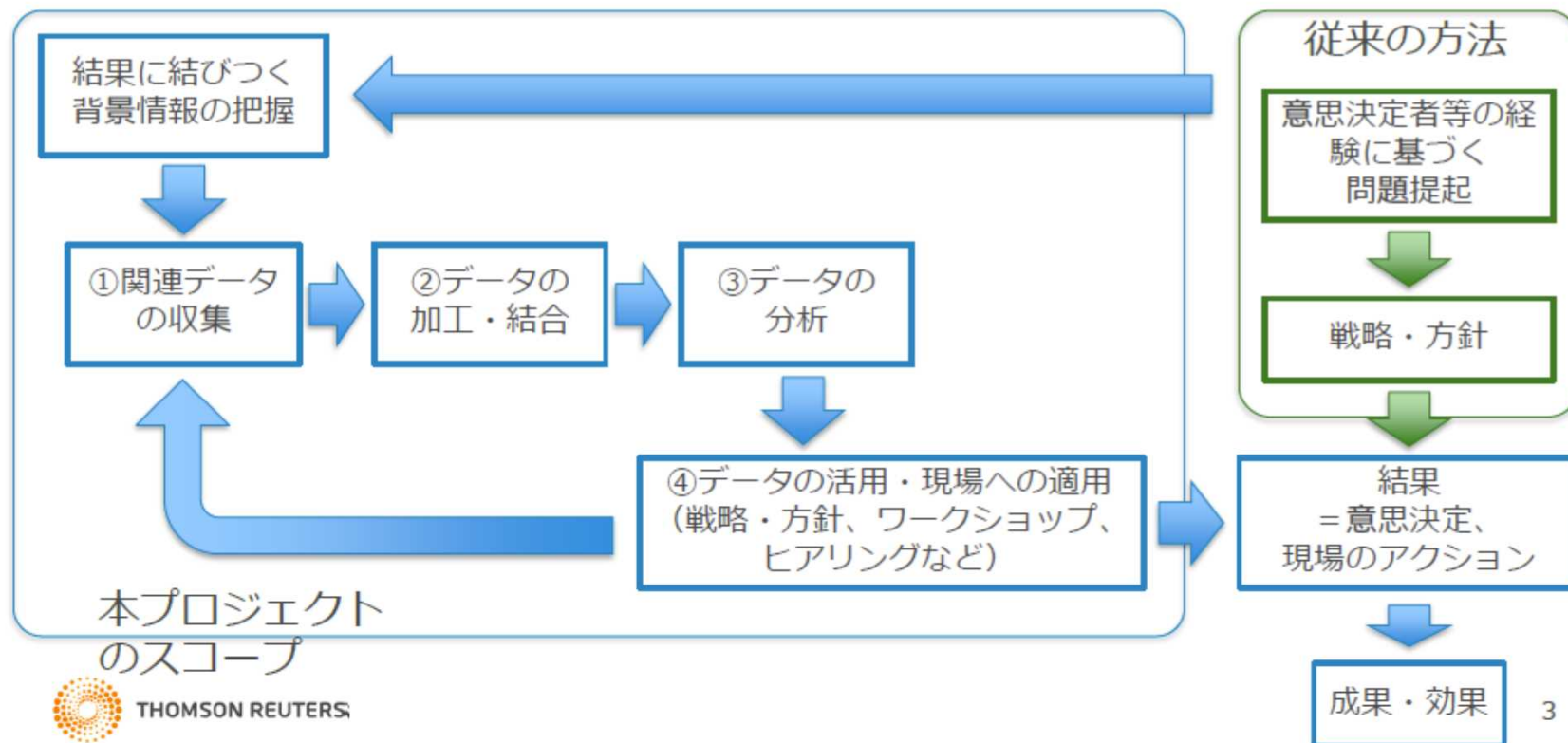
# QSランキング（歯学系）

|               | 東京医科歯科大学  | 大阪大学       | ミシガン大学    |
|---------------|-----------|------------|-----------|
|               | <b>6位</b> | <b>44位</b> | <b>4位</b> |
| 評判(教員)        | 100.0     | 63.2       | 68.4      |
| 評判(雇用者)       | 89.5      | 87.2       | 85.5      |
| 被引用率(引用数／教員数) | 79.9      | 81.9       | 95.2      |
| Top10%論文数／論文数 | 78.8      | 73.7       | 100.0     |
| 総合            | 86.6      | 74.4       | 87.6      |

# 世界一の歯学部になるために

## 本プロジェクトのスコープ

- 本プロジェクトでは、歯学部の改善というテーマをケースとして取り上げ、①どのようなデータを②どのように加工し、③どのような分析をした上で④どうやって具体的な結果に結びつけるか、という一連のプロセスを関係者で確認すると同時に、実際に歯学部の課題解決に対するサポートを行うこととする。



## エビデンス作成の視点

- 他大学との多面的な比較分析

- － 他大学（国内外）と自大学のさまざまな活動を指標化（下記例）し、それらを比較する。
  - ✓ 関連学部の人員数（学生数、教員数）
  - ✓ 論文数、被引用数（英語論文、日本語論文）
  - ✓ 投稿雑誌の構成
  - ✓ 研究者別分析（共著関係、ネットワーク、論文投稿歴、PI歴（筆頭著者）など）
  - ✓ 講座・診療科の構成
  - ✓ 当該学会（国内）への関与度（役員数、投稿数など）
  - ✓ 関連学会（国際）への関与度（役員数、投稿数など）
  - ✓ 関連政策への関与度（関連審議会における委員数）
  - ✓ 関連情報の情報発信（HPの整備状況）
  - ✓ 関連科研費の獲得状況
  - ✓ 偏差値、国家試験合格率
  - ✓ 病院経営に関する各種指標
  - ✓ 産学連携、特許 など

- あるべき姿・目指す姿とのギャップ分析

- － あるべき姿・目指す姿が実現した時の状態を測定できる指標を設定し、現状値との差分分析を行う。
- ※ 「あるべき姿・目指す姿」をどのように定義するか、については要相談



# 本学URAの特徴: 多忙な研究者の苦手領域を支援

TMDU研究者  
(1人3役)

(医療系独特のヒトを研究対象とする)臨床研究に  
関連する必須の業務を支援

## 先進医療展開ブランチ

革新的な診断治療薬品機器による社会への還元

市販

PMDAの承認

PMDAへの承認申請

企業が申請

企業  
(ベンチャー  
カンパニー  
含む)

実用化

出口戦略を見据えた活動

学内の臨床研究全体の  
統一集積システムを構築

倫理審査システム  
利益相反システム  
eACReSSシステム  
構築と管理

- ・ 倫理教育受講
- ・ 学内審査委員会申請審議  
(プロトコル作成)  
(利益相反、UMIN、倫理審査)

- ・ ACRess入力
- ・ インフォームドコンセント  
(同意説明)
- ・ 安全性情報報告

中央省庁からの助言

- ・ PMDA(医薬品医療機器総合機構)への相談
- ・ 厚生労働省への相談

産官学連携(共同研究開発)

(産学連携研究センターが  
研究者支援)



数年~10年以上

トランスレーショナル(橋渡し)研究

基礎研究

研究者



(特許出願)

医師



教育者



## 先端医療推進ブランチURAメンバー

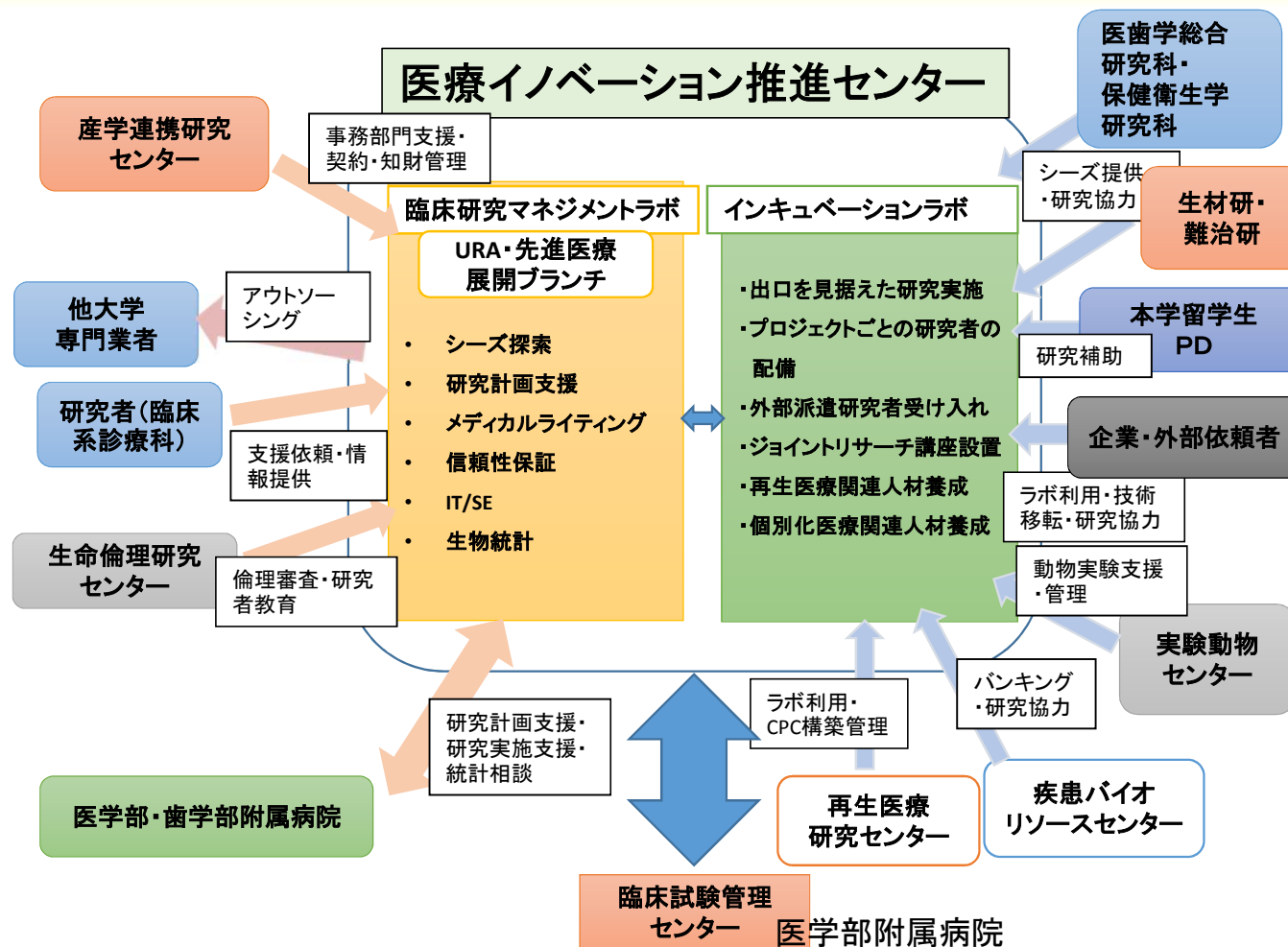
|   | 現職位          | 前 職                   |
|---|--------------|-----------------------|
| 1 | URA<br>特任教授  | 厚労省医薬食品局課長(出向)        |
| 2 | URA<br>特任准教授 | 製薬企業(臨床開発プロジェクトマネジャー) |
| 3 | URA<br>特任准教授 | 製薬企業(監査管理者)           |
| 4 | URA<br>特任准教授 | 製薬企業(臨床開発モニター管理者)     |
| 5 | URA<br>特任助教  | 大学院医歯学総合研究科助教         |
| 6 | URA          | 他大学病院所属CRC            |
| 7 | URA          | CRO治験受託業務全般           |

CRC: 治験コーディネーター (Clinical Research Coordinator)

CRCは診察に立ち会いわかりやすい言葉で診察内容を説明し、被験者の複雑な気持ちを受け止め、和らげる等の努力をしています。

CRO: Contract Research Organizationの略で、製薬会社が医薬品開発の為に治験業務(臨床開発)を受託・代行する企業

# 医療イノベーション推進センターの新設



## URA (先進医療展開ブランチ) 活動概要(H26-27)

臨床萌芽研究（10件）の推進/助言：  
研究者に個別対応

科研費申請案件の支援（2件）：

- ・上阪案件（厚労：筋炎新適応、医師主導治験）
- ・横田案件（JST：次世代ヘテロ核酸医薬）

H26.6-10: メンバー増員（URA 6名に）

採択達成（厚労26.4）（JST 26.8）

臨床研究相談案件の重点評価、支援  
（20件；H27.3時点）

医療イノベーション推進  
センター設立（H27.3）

臨床研究案件の優先選択絞込み、担当案件  
の割り振り（15件；H27.8時点）

（他URA、産連センター、  
事務部連携）

（別紙参照）

◎外部競争資金獲得申請の効率的支援（ロードマップ策定等）  
◎次世代臨床研究シーズ探索の仕組み 構築中

治験計画書作成支援

PMDA事前面談、  
対面助言 対応

外部委託会社と連携、  
治験推進補佐

多施設臨床試験  
スタート会、治験届支援

症例登録、治験促進支  
援継続中

URA  
(2名)  
支援

## URA (先進医療展開ブランチ) 活動概要(H26-27)

